

Future World

第13号



実力テストが終わり、次は中間テストが近づいてきます!

先週から2学期が始まり、3日(金)には実力テストがありました。生徒の皆さんの声を聞くと「社会」「理科」あたりが苦戦を強いられたように聞きます。国語や数学、英語と比べるとこの2科目は、思考力を試されるような問題の出題が多く、暗記中心の学習に取り組んできた人は、解答に困った問題も多かったのではないかと思います。愛知県の公立高校の入試での鍵は「社会」「理科」が握っているかもしれません。



必読

第1回実力テストの実施

提案

鉛筆=ユニフォーム



先週3日(金)に第1回実力テストが実施されました。このテストは、愛知県のほとんどの学校の中学3年生が受験します。これまでの勉強で培った学力を試す絶好の機会になると同時に、苦手教科や苦手分野を確認する絶好の機会となります。9月下旬には成績票が返却され、10月中旬には尾張地区内の偏差値をお伝えする予定となっています。

高校入試は調査書(おもに内申点)と当日の学力検査の得点で上位から合格を決定していきます。特に公立入試では、当日の学力検査を重視する傾向が強くなっています。「内申点は高いが、学力がそれに伴わないため、入学後、高校の勉強についていけず苦しむような生徒」を出さないようにすることが目的の1つようです。

定期テストでの点数の採れるのに、実力テストではなかなか思うような結果が出せない生徒は、やはり高校入試では苦戦を強いられ、内申点では合格するであろう水準にあるものの当日のテストで及第点に達することができず残念ながら不合格する傾向にあります。

では、どのような勉強をすれば実力がつくのか。

入試問題作成者は何を基準に問題を作成しているのかを考えれば、どの教材を使って学習をすればよいのか自ずと見えてくるはず。答えは「教科書」です。

教科書にあることをもとに問題を作成しますので、皆さんが受験勉強をする際に必要な教材は、「教科書」「学校で書き溜めた授業用ノート」「学校で使用した問題集」そして「授業中に配付されたプリント」。この4点あれば、鬼に金棒です。

ここから1つの大切なことが見えてきませんか。そうです。高校入試で一番効果的に効率的に実力を付ける瞬間は学校での日々の授業なのです。「授業に全身全霊を注いで受ける」ことが最強の勉強なのです。

皆さんは、テストを受ける際、鉛筆で受験しますか。それともシャープペンを使いますか。

中学生になると、シャープペンを使う生徒が大半を占めています。小学校のように「シャープ禁止」というわけではないので、個人の判断となります。

シャープペンは便利な文房具なのは分かります。しかし、いくら頑張っても丁寧に書いたところで、鉛筆で書いた字体の美しさには到底及ばないのです。鉛筆は字のとめ、はね、はらいや字体の美しさを表現することができ、テストにおいては、文字の美しさは採点者により印象を与えます。

また、鉛筆を正しく握ると、指先に適度な力が入るため、脳が活性化し集中力も高まり、シャープペンを使用したときよりもミスの割合が減るという研究報告もあります。

さらに、マークシート問題は、鉛筆の使用を強く推奨します。「シャープペンシルを使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください」と大学の共通入学テストでは問題用紙に明記してあるぐらいです。

運動部に所属している人にとって、大切な試合は、ユニフォームを着ますよね。試験や入試にとって鉛筆はまさにユニフォームなのです。シャープペンは所詮、練習着でしかありません。採点者は、鉛筆で丁寧な字で濃く書かれた答案を見るのは本当に気持ちがよく、一生懸命さが伝わってきます。

鉛筆は、シャープペンよりも勝るとも劣らない!大切な試合は、鉛筆という名のユニフォームで戦ってみませんか。きっと鉛筆に成功の神様が宿っています。信じるか信じないかはあなた次第です。

